

事業所名 ハピネス キッズ 下原

支援プログラム (参考様式)

作成日 R7 年 1 月 15 日

| | | | | | | | |
|-----------|-----------------|---|-----------|-----------|-----------------|---|-------|
| 法人（事業所）理念 | | 日常生活における基本動作等の指導を行い、発達の助長を目的とする。 | | | | | |
| 支援方針 | | すべての答えは利用者様の中にあると考え、以下の点に留意して支援していく。①利用者様と目線で時間と空間を共有する。②日常会話の中からストレスを共に見つけケアする。③必要性にすぐ手を差し伸べられる環境の提供。④社会性を取り戻し人の輪、地域の輪を広げます。⑤可能性を見出して生活が少しでも改善できるようにトライする。 | | | | | |
| 営業時間 | | 平日 学校休校日 | 10 9 時 | 00 分から | 19 18 00 分まで | 送迎実施の有無 | あり なし |
| 支 援 内 容 | | | | | | | |
| 本人 支援 | 健康・生活 | 規則正しい生活を送る事で ①先の見通しを持って生活する。②家族との接点を増やしお互いの理解を深める。 ③家族内での役割を持つことで自主性と自立を図る。④偏食等をなくし健全な身体や気持ちを育てる。 | | | | | |
| | 運動・感覚 | 理学療法士、作業療法士の指導の下、運動を通して身体能力の向上を目指す。①バランスボール等の補助具を使いバランス感覚の育成。②サーキットトレーニング等を通して俊敏性の改善を図る。ボール遊びや縄跳び等の遊びを通しての持久力向上等を図る。 | | | | | |
| | 認知・行動 | ①他の人との社会的関係を踏まえたうえでの距離感を身につける事で、快適な人間環境を作る。②その場に応じての不適切な言葉を使わずに、他の人との円滑な環境を作る。③集団行動を通し、自律性と協調性を身につけて行動できるようになる。 | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | 自分の意見を主張するとともに他の人の意見を聞き容れる事で上手なコミュニケーションが出来るようになる。声の大きさやトーンをその場に応じて使い分ける事で会話がスムーズになるようにする。集団活動の中で適切な判断力やリーダーシップを見につける。 | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | 自己主張だけではなく、周りの人の意見も聞き容れて、より良い環境を作る。家庭・学校・デイ等の活動を通して自立性を養う。 | | | | | |
| 家族支援 | | ①家庭内での問題がある場合は積極的にアプローチする。②不登校や進学に関してのアドバイスなど。 | | 移行支援 | | 状況に応じての保育所訪問支援や不登校に関しての行動支援などを積極的に進めます。 | |
| 地域支援・地域連携 | | 保護者様の困りごとに対して、社会福祉協議会や行政の福祉部門と連動しながら問題解決に取り組みます。②地域社会の活動に参加する事で地域の一員としての自覚を身につけます。 | | 職員の質の向上 | | 月に1回の外部講師等による療育スキル向上の為の研修や必要に応じて問題解決の為の会議を実施。 | |
| 主な行事等 | | 初詣・節分・ひな祭り等の季節に応じたレクリエーションの実施、保護者様も参加のレクリエーションとしてバーベキュー、夏祭り、芋ほり、Christmasパーティ等。 | | | | | |